2019年度 東京工業大学 理学院地球惑星科学系

教室発表会

日時: 2020年3月5日(木)、6日(金)

場所: 東京工業大学よりwebで開催

評価委員	鷺谷 威 先生	名古屋大学減災連携研究センター・教授
	日高 洋 先生	名古屋大学大学院環境学研究科・教授
	鈴木 建 先生	東京大学大学院総合文化研究科・教授

プログラム

【1日目】 3月5日(木)

時刻	発表者	題目	司会
10:00	系代表	開始 系代表挨拶	
10:05	佐藤文衛	太陽系外惑星の観測的研究	東
10:30	平野照幸	吸収線プロファイルの解析に基づく惑星の軌道傾斜角測定	
10:50	玄田 英典	MMX計画と私	
11:15	休憩 (10 min)		
11:25	井田茂	天王星衛星の形成モデル	アレクシ
11:50	奥住聡	原始惑星系円盤のスノーライン: 現状の理解と将来の観測	
12:15	Lunch time		
13:15	研究員・院生による発表(1) (5分×8名) (ポスター発表予定者)		
14:00	太田健二	太田研のこの1年	平野
14:25	東真太郎	下部マントル物質の力学データから考察するスラブの沈み込み挙動	
14:45	石川晃	地球最古岩石から読む冥王代地球	
15:10	羽場麻希子	極微小ジルコンの超高精度年代測定・横山研活動報告	
15:35	休憩 (10 min)		
15:45	中島淳一	内陸で起こる浅部低周波地震の発生メカニズム	佐藤友
16:10	岡元太郎	地震学の話題から	
16:30	麻生尚文	加速度センサとRaspberry Piで学ぶ地震学のフロンティア	
16:50	中本泰史	惑星系形成過程の理論的研究2019: ダストから微惑星への道のり	
17:15	講演終了		
	懇親会(中止)		

【2日目】 3月6日(金)

9:30	上野 雄一郎	同位体分子生物惑星化学	羽場
9:55	ジルベル アレクシ	Distinguishing non-biological molecules from biological ones	
10:15	関根康人	今後、我々はいかに地球外生命を見つけるべきか	
10:40	John Hernlund	Hernlund研活動報告	
11:05	休憩 (10 min)		
11:15	松島政貴	コア表層流れモデルのエルサツサー数依存性	麻生
11:35	神田径	火山体の内部構造研究2019	
12:00	小川康雄	小川研究室のこの1年	
12:25	Lunch (60min)		
13:25	研究員・院生による発表(2) (5分×7名) (ポスター発表予定者)		
14:15	総合討論(仮)	授業評価(15分) 学生からの活動報告・提言(15分) 若手教員からの提言(15分) 将来計画(60分)	
16:00	評価委員講評		
16:15	終了		

教授・准教授 25分(15分:規定発表+研究発表)、質疑(10分)

助教 20分(13分:研究発表)、質疑(7分)

2019年度 教室発表会

ポスター発表

3月5日(木)13:15-13:55、3月6日(金) 13:25-14:05

Web会議ツール(zoom)を用いて発表 (石川台2号館315号室)

日付	時間帯	発表者	タイトル
1 3月5日	13:15-13:20	佐藤友彦(上野研PD)	前期原生代におけるガボン真核生物の出現
2 3月5日	13:20-13:25	荒川創太(中本研D3)	太陽系外縁天体の衛星形成と潮汐進化
3 3月5日	13:25-13:30	若松達也(太田研D2)	Sound velocity measurements on lower mantle minerals by femtosecond pulse laser pump-probe technique
4 3月5日	13:30-13:35	松永康生(小川・神田研D1)	Magmatic hydrothermal system inferred from the resistivity structure of Kusatsu-Shirane Volcano
5 3月5日	13:35-13:40	大野和正(奥住研D3)	SPIGAで探す系外惑星の鉱物雲
6 3月5日	13:40-13:45	奥田善之(太田研D2)	鉄-水素・炭素・窒素4成分系における高圧下融解実験
7 3月5日	13:45-13:50	松浦孝之(奥住研M1)	TW Hya周囲の原始惑星系円盤におけるダスト付着度の制約
8 3月5日	13:50-13:55	TSENG, Kuo Hsuan(小川・神田研D3)	Electromagnetic induction study of Kusatsu-Shirane volcano, Japan, using natural and controlled sources (自然信号および人工制御信号を用いた草津白根火山の電磁探査研究)
9 3月6日	13:25-13:30	小泉陽平(佐藤研D2)	スパースモデリングによるM型星の特性決定
10 3月6日	13:30-13:35	奈良悠冬(奥住研M1)	ペブル集積による小惑星セレスへのアンモニア氷の供給
11 3月6日	13:35-13:40	藤田 遼(石川研M1)	ハワイ諸島産マントル捕獲岩の起源~Os同位体・強親鉄性元素組成からの制約~
12 3月6日	13:40-13:45	井上勇人(太田研M2)	高温高圧力下におけるFe-SiとFe-Ni-Si合金の電気抵抗率測定:地球コアの伝導度への考察
13 3月6日	13:45-13:50	中野 隼(石川研B4)	コマチアイトの Re-Os 系による年代測定 及び強親鉄性元素濃度測定 --マントル進化史の解明に向けて--
14 3月6日	13:50-13:55	櫻庭 遥(奥住研D1)	地球の揮発性元素組成の起源:コア形成と天体衝突による大気散逸の影響
15 3月6日	13:55-14:00	桑原 歩(井田研M2)	原始惑星によって駆動されるガス流がペブル降着に及ぼす影響:系外惑星分布への示唆